



平成30年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月5日

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4187 URL <https://www.ooc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上林 泰二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 本田 宗一 (TEL) (06)6264-5071
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月5日 配当支払開始予定日 平成30年8月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第2四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第2四半期	13,948	9.1	1,843	14.8	1,968	19.7	1,310	16.4
29年11月期第2四半期	12,780	9.7	1,605	48.4	1,645	45.8	1,125	15.1

(注) 包括利益 30年11月期第2四半期 927百万円(△35.2%) 29年11月期第2四半期 1,430百万円(270.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第2四半期	58.94	—
29年11月期第2四半期	50.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第2四半期	39,401	29,843	75.1
29年11月期	39,479	29,698	74.7

(参考) 自己資本 30年11月期第2四半期 29,598百万円 29年11月期 29,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	—	14.00	—	15.00	29.00
30年11月期	—	17.00			
30年11月期(予想)			—	15.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,281	2.7	3,327	3.7	3,497	3.9	2,415	11.8	108.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年11月期2Q	22,410,038株	29年11月期	22,410,038株
② 期末自己株式数	30年11月期2Q	266,391株	29年11月期	9,991株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年11月期2Q	22,231,504株	29年11月期2Q	22,400,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き雇用・所得環境の改善が継続する中で、景気は緩やかな回復基調にありました。一方、海外経済の不確実性や原油高による原燃料価格の変動リスクなどにより、先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況の下で当社グループは、平成27年11月期よりスタートしました10ヶ年の長期経営計画「Next Stage 10」の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。安定基盤事業としての化成品事業においては、主力のアクリル酸エステル収益性アップと海外拡販に注力しております。先端材料事業としての電子材料事業においては、主力製品のシェア拡大と次世代表示材料の開発に努めてまいりました。また、機能化学品事業においては、新規分野の開拓と海外拡販の強化とともに、既存製品の合理化と拡販による採算性の改善を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は139億4千8百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は18億4千3百万円（前年同四半期比14.8%増）、経常利益は19億6千8百万円（前年同四半期比19.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億1千万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおります。）

①化成品事業

化成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車塗料用や光学材料向け粘着剤用の販売が堅調に推移し、売上高は横ばいとなりました。メタクリル酸エステルグループは、販売が好調に推移し、売上高は増加いたしました。しかしながら、原材料価格の上昇や設備修繕費の影響等により、セグメント利益は大幅に減少いたしました。この結果、売上高は57億2千9百万円（前年同四半期比5.4%増）、セグメント利益は3億1千8百万円（前年同四半期比28.1%減）となりました。

②電子材料事業

電子材料事業におきましては、表示材料グループは、液晶ディスプレイ市場が回復基調で推移し、売上高は横ばいとなりました。半導体材料グループは、需要が好調に推移し、売上高は増加いたしました。また、売上高の増加及び利益率の高い製品比率の増加によりセグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は48億4千5百万円（前年同四半期比10.6%増）、セグメント利益は10億7千2百万円（前年同四半期比29.8%増）となりました。

③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、販売が好調に推移し、売上高は増加いたしました。機能材料グループは、販売が好調に推移し、売上高は増加いたしました。また、利益率の高い製品比率の増加によりセグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は34億7千6百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益は4億4千6百万円（前年同四半期比33.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて7千8百万円減少し、394億1百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加、製品・仕掛品の増加、有形固定資産の増加及び投資有価証券の減少などによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて2億2千3百万円減少し、95億5千7

百万円となりました。これは、主に未払金の増加、長期借入金の減少及び役員退職慰労引当金の減少などによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて1億4千5百万円増加し、298億4千3百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加、自己株式の取得による減少及びその他有価証券評価差額金の減少などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて3億6千4百万円増加し、55億4千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億5千6百万円の増加（前年同四半期は20億5千9百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費及びたな卸資産の増加額などによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億1千1百万円の減少（前年同四半期は3億7千7百万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の売却による収入及び保険積立金の払戻による収入などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億7千4百万円の減少（前年同四半期は4億2千8百万円の減少）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出、自己株式の取得による支出及び配当金の支払額などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年1月11日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,480,762	6,844,844
受取手形及び売掛金	7,459,068	7,199,161
電子記録債権	403,310	357,505
有価証券	—	99,760
製品	3,082,815	3,331,693
仕掛品	1,188,780	1,467,109
原材料及び貯蔵品	870,233	966,304
繰延税金資産	229,030	275,379
その他	309,071	101,028
貸倒引当金	△10,977	△10,350
流動資産合計	20,012,094	20,632,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,836,246	5,671,935
機械装置及び運搬具(純額)	2,805,817	2,724,224
土地	2,223,397	2,217,587
建設仮勘定	157,776	748,785
その他(純額)	299,761	310,023
有形固定資産合計	11,323,000	11,672,556
無形固定資産		
のれん	225,533	145,933
その他	25,929	21,047
無形固定資産合計	251,462	166,980
投資その他の資産		
投資有価証券	7,381,769	6,561,795
退職給付に係る資産	226,183	239,547
その他	320,112	162,998
貸倒引当金	△35,200	△35,200
投資その他の資産合計	7,892,865	6,929,140
固定資産合計	19,467,328	18,768,677
資産合計	39,479,423	39,401,113

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,761,133	3,597,527
1年内返済予定の長期借入金	545,948	545,948
未払金	1,193,430	1,699,901
未払法人税等	611,817	622,476
役員賞与引当金	46,220	29,000
その他	576,484	642,725
流動負債合計	6,735,034	7,137,578
固定負債		
長期借入金	1,358,907	1,085,933
繰延税金負債	1,101,955	1,019,939
役員退職慰労引当金	478,122	14,122
その他	107,373	299,939
固定負債合計	3,046,358	2,419,934
負債合計	9,781,392	9,557,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,508,891	3,508,891
利益剰余金	19,573,531	20,547,274
自己株式	△6,435	△449,267
株主資本合計	26,676,283	27,207,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,982,161	2,563,503
為替換算調整勘定	△948	△326
退職給付に係る調整累計額	△185,490	△171,706
その他の包括利益累計額合計	2,795,721	2,391,471
非支配株主持分	226,025	244,935
純資産合計	29,698,031	29,843,601
負債純資産合計	39,479,423	39,401,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
売上高	12,780,330	13,948,800
売上原価	9,223,297	10,091,642
売上総利益	3,557,033	3,857,158
販売費及び一般管理費	1,951,379	2,013,400
営業利益	1,605,653	1,843,757
営業外収益		
受取利息	2,696	1,374
受取配当金	41,062	56,305
為替差益	261	—
保険解約返戻金	—	56,410
その他	37,393	34,267
営業外収益合計	81,414	148,358
営業外費用		
支払利息	6,379	4,780
為替差損	—	15,046
貸倒引当金繰入額	35,200	—
その他	206	3,630
営業外費用合計	41,786	23,458
経常利益	1,645,281	1,968,657
特別利益		
固定資産売却益	—	2,158
投資有価証券売却益	41,274	296,259
受取保険金	—	29,156
役員退職慰労引当金戻入額	—	36,545
特別利益合計	41,274	364,120
特別損失		
固定資産売却損	—	503
固定資産除却損	8,655	34,478
固定資産譲渡損	—	93,502
投資有価証券売却損	12,735	—
ゴルフ会員権評価損	6,110	—
火災損失	68,524	—
退職給付制度改定損	—	261,386
特別損失合計	96,025	389,871
税金等調整前四半期純利益	1,590,530	1,942,906
法人税、住民税及び事業税	413,788	575,984
法人税等調整額	32,029	36,256
法人税等合計	445,818	612,241
四半期純利益	1,144,711	1,330,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,438	20,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,125,272	1,310,291

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	1,144,711	1,330,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270,811	△418,029
為替換算調整勘定	△34	621
退職給付に係る調整額	15,427	14,084
その他の包括利益合計	286,203	△403,323
四半期包括利益	1,430,915	927,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,410,677	906,040
非支配株主に係る四半期包括利益	20,237	21,301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,590,530	1,942,906
減価償却費	731,714	686,942
のれん償却額	79,599	79,599
貸倒引当金の増減額(△は減少)	34,634	△627
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△38,653	△464,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,840	△17,220
固定資産撤去損失引当金の増減額(△は減少)	△30,883	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△10,781	△13,363
受取利息及び受取配当金	△43,759	△57,680
受取保険金	—	△29,156
支払利息	6,379	4,780
為替差損益(△は益)	3,185	6,294
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,655
固定資産除却損	8,655	34,478
投資有価証券売却損益(△は益)	△28,538	△296,259
ゴルフ会員権評価損	6,110	—
火災損失	68,524	—
売上債権の増減額(△は増加)	△191,607	306,090
たな卸資産の増減額(△は増加)	△470,012	△623,131
仕入債務の増減額(△は減少)	459,311	△164,276
その他	425,132	473,612
小計	2,584,701	1,867,335
利息及び配当金の受取額	44,320	57,309
利息の支払額	△6,383	△4,747
保険金の受取額	—	184,339
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△563,618	△547,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,059,020	1,556,661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△290,000	△1,560,000
定期預金の払戻による収入	290,000	1,560,000
有形固定資産の取得による支出	△597,813	△694,531
有形固定資産の売却による収入	—	7,604
無形固定資産の取得による支出	△10,197	—
投資有価証券の取得による支出	△2,691	△2,672
投資有価証券の売却による収入	144,070	429,950
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
保険積立金の積立による支出	△5,341	△4,578
保険積立金の払戻による収入	7,300	153,167
その他	△12,843	△247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377,515	△111,307

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△317,125	△272,974
リース債務の返済による支出	△15,324	△14,307
自己株式の取得による支出	△96	△449,915
子会社の自己株式の取得による支出	△3,125	—
配当金の支払額	△291,202	△336,000
非支配株主への配当金の支払額	△1,450	△1,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,323	△1,074,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,705	△6,274
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,250,476	364,081
現金及び現金同等物の期首残高	3,225,080	5,180,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,475,556	5,544,844

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年1月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は449,915千円(260,600株)増加しました。また、平成30年2月27日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は7,083千円(4,200株)減少しました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は449,267千円(266,391株)となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,434,826	4,382,377	2,963,126	12,780,330	—	12,780,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	89,194	89,194	△89,194	—
計	5,434,826	4,382,377	3,052,321	12,869,524	△89,194	12,780,330
セグメント利益	443,577	825,969	333,726	1,603,273	2,380	1,605,653

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成29年12月1日至平成30年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,729,865	4,845,965	3,372,969	13,948,800	—	13,948,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	103,038	103,038	△103,038	—
計	5,729,865	4,845,965	3,476,008	14,051,839	△103,038	13,948,800
セグメント利益	318,786	1,072,503	446,850	1,838,140	5,617	1,843,757

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。